

令和7年度（2025年度）事業計画書

1. 概要

今年度も、公益財団法人としての組織運営を引き続き適切に実施するとともに、地域住民の交流を促進する活動を行っていく。

2. 事業活動計画

(1) 森林等における環境保全活動の主催・実施等

5月17日（土）には、飯能・西武の森で「記念植樹」と新緑の水辺・里山ハイキングを自由参加型で開催する計画である。これは、植樹とハイキングを通して、環境保全の重要性を認識してもらうとともに、地域住民の交流を促進することを目的としている。イベント参加者の募集に当たっては、当財団ホームページ及び自治体広報紙等で地域住民に周知のうえ、参加希望者を公募する。

6月28日（土）には、飯能・西武の森で「ホテル観賞会」を定員参加型で開催する計画である。これは、水田を復元することにより、ホテルの棲む里山の環境の素晴らしさと保全の大切さを参加者に認識してもらうなかで、地域住民の交流を促進することを目的としている。イベント参加者の募集に当たっては、当財団ホームページ及び自治体主催の環境イベントへの出展で地域住民に周知のうえ、参加希望者を公募する。

10月頃には、新規の取り組みとして、千葉県習志野市で「干潟の生きもの観賞」と自然工作を定員参加型で開催する計画である。これは、干潟に棲む野鳥や飛来する水鳥の観察により、環境保全の重要性を認識してもらうことに加え、毛糸を使用した自然工作により、地域住民の交流を促進することを目的としている。イベント参加者の募集に当たっては、当財団ホームページ及び自治体広報紙等で地域住民に周知のうえ、参加希望者を公募する。

11月頃には、さいたま緑の森博物館で、樹木医の「みどりの教室」と「体験型学習イベント地球誕生46億年（460m）を歩こう」を定員参加型で開催する計画である。これは、樹木医による「みどりの教室」（樹木の診断・保護・育成等の話し）や環境問題を学ぶことで、環境への意識を高めてもらうとともに、地域住民の交流を促進することを目的としている。イベント参加者の募集に当たっては、当財団ホームページ及び自治体広報紙等で地域住民に周知のうえ、参加希望者を公募する。

令和8年2月頃には、飯能・西武の森で「間伐体験」と木工品づくりを定員参加型で開催する計画である。これは、指導員のもと、のこぎりを使って「間伐体験（枝打ちと間伐）」等を行い、森づくりを学習することに加え、木工品づくりでの木のぬくもりを感じるなかで、環境保全の重要性を認識してもらうとともに、地域住民の交流を促進することを目的としている。イベント参加者の募集に当たっては、当財団ホームページ及び自治体広報紙等で地域住民に周知のうえ、参加希望者を公募する。

3月頃には、埼玉県狭山丘陵いきものふれあいの里センターで、「里山体験（落ち葉掃

き)」と「焼き芋作り」を定員参加型で開催する計画である。これは数多くの哺乳類、昆虫、植物などが棲む丘陵で「里山体験（落ち葉掃き）」を行い、最後にかき集めた落ち葉での焼き芋作りのなかで、環境保全の重要性を認識してもらうとともに、地域住民の交流を促進することを目的としている。イベント参加者の募集に当たっては、当財団ホームページ及び自治体広報紙等で地域住民に周知のうえ、参加希望者を公募する。

参加者に安全・安心・快適に環境保全地域交流活動に参加してもらえるように、イベント時の不測の事態への備えとしての各種保険への加入や警察、消防、医療、各行政機関への連絡体制と調整を行う。

さらに、飯能・西武の森「ほほえみの丘」植樹地の除草・施肥等の整備を実施し、樹勢の衰えた樹木の育樹を促進していく。

(2) 環境保全をテーマにした各種イベントへの出展・協賛

さまざまな行政機関や諸団体が実施する環境保全をテーマにした各種イベントに出展し、当財団の活動内容を報告していく。実施する活動を通じて、環境保全の意義を広く周知し、地域社会における環境保全活動・交流活動の推進をするとともに、青少年の健全な育成や地域社会の健全な発展につなげていく。

具体的には、環境フェスタ2025（はんのう市民環境会議主催）、西川材フェアー（飯能市商工会議所主催）に出展し、当財団の環境活動、交流活動、支援活動等のPR・広報活動を行っていく。

また、飯能市立飯能第一小学校の森林学習（はんのう市民環境会議主催）において、地元小学生に対し、田植え、稲刈り、里山での間伐・落ち葉掃き等の体験学習のサポートを行う。

3. 管理部門

- ・評議員会及び理事会の開催
- ・事務スペースの賃借、リース契約等、財団運営のための適切な事務業務の遂行
- ・業務マニュアル・手順書等の整備並びに着実な運用
- ・その他官公署等への対応

以 上